

# 施工・据付関連

## ● エアコンの設置場所について

### ● 室内機設置場所の注意点

- ① 風の障害がなく、部屋に冷温風が行き渡る所。
- ② 室内機や壁が振動しない丈夫な所。
- ③ サービススペースのとれる所。
- ④ ドレン排水が容易にできる所。
- ⑤ テレビ・ステレオ・ラジオから1m以上離れた所。  
(映像が乱れたり、雑音が生じたりすることがあります)
- ⑥ 高周波機器、電線機器の影響を受けない所。
- ⑦ 油の飛沫の多い所はさけてください。
- ⑧ 受信部に直射日光や強い照明灯の光が当たらない所。
- ⑨ 電子瞬時点灯方式の蛍光灯(インバーター蛍光灯など)とエアコンの本体はできるだけ離してください。リモコンの送信距離が短くなる場合があります。
- ⑩ 室内機の下に家電製品や家財などが無い所。

### 住宅用火災警報器設置義務に伴うエアコン設置時の注意点

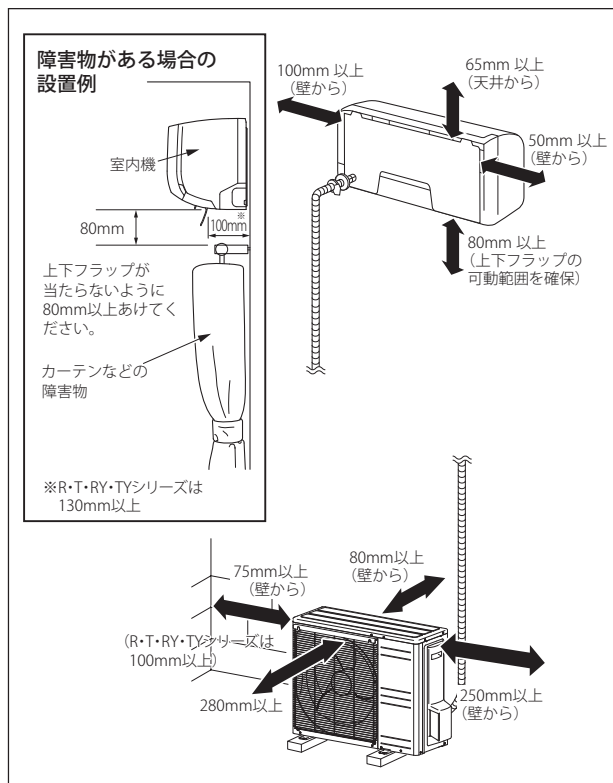
火災警報器を設置済みの住宅にエアコンを設置する場合、火災警報器がエアコンの吹き出し口から1.5m以上離れているか確認のうえ取り付けてください。

### ● 室外機設置場所の注意点

- ① 雨や直射日光のあたりにくい風通しのよい所。
- ② 室外機の質量に十分耐える場所で、運転音や振動が増大しない丈夫な場所。
- ③ サービススペースのとれる所。  
(室外機周囲が開放された据付場所が選べず、やむを得ず吸込口および吹出口に壁などの障害物のある場所に据え付ける場合、冷・暖房能力および入力に10%程度悪化する場合があります)
- ④ 吹き出した風や運転音が隣家に迷惑をかけない所。

■ 下記のような所は避けて設置ください。

- 塩害地、ビル上階部などの常時強風が当たる所。
- 油・蒸気・油煙の発生する所。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある所。
- 小動物のすみかになるような所。
- ファン吹き出し風が植木等に当たる所。



## ● 3階建て住宅にも余裕で設置

### 冷媒配管距離の制限値

接続冷媒配管は、配管長・高低差の範囲内で据え付けてください。(冷媒の追加チャージは必ず行なってください。)

形式	配管長	高低差		冷媒の追加チャージ量
		室外機下方	室外機上方	
ルームエアコン SRK2221R、2521R、2821R、3621R SRK2221T、2521T、2821T・2821T2、3621T SRK22RY、25RY、28RY、36RY SRK22TY、25TY、28TY・TY2、36TY	20m	10m	10m	配管長が10mを超える場合は1m当り20g補充
ルームエアコン SRK2221S、2521S、2821S、3621S、4021S2、5621S2 SRK4021R2、5621R2 / SRK4021T2、5621T2 SRK2521SK2、2821SK2、4021SK2、5621SK2 SRK22SY、25SY、28SY、36SY、40SY2、56SY2 SRK40RY2、56RY2 / SRK40TY2、56TY2 SRK25SYK2、28SYK2、40SYK2、56SYK2	25m	15m	15m	配管長が15mを超える場合は1m当り20g補充
ハウジングエアコン SRT28X2、36X2、40X2、50X2、56X2	35m	20m	20m	配管長が10mを超える場合は1m当り20g補充
ハウジングエアコン SRT22X2、25X2 SRTW40X2、50X2、56X2 SKU25X2、28X2、36X2、45X2 SRF28X2、40X2、50X2	30m	20m	20m	配管長が10mを超える場合は1m当り20g補充
マルチエアコン SCM46X2、52X2、56X2	1室当り/20m 2室合計/30m	15m	10m	2室合計の配管長が20mを超える場合1m当り20g補充
マルチエアコン SCM60X2	1室当り/25m 全室合計/50m	15m	10m	全室合計の配管長が40mを超える場合1m当り20g補充
マルチエアコン SCM68X2、71X2、80X2	1室当り/25m 全室合計/80m	15m	10m	全室合計の配管長が60mを超える場合1m当り20g補充

## ● 異径配管接続可否について

### 異径配管接続可否基準表

既設配管	液管(mm):外径	φ 6.35					φ 9.52						
		φ 6.35	φ 6.35	φ 6.35	φ 9.52	φ 9.52	φ 9.52	φ 9.52	φ 9.52	φ 9.52			
ルームエアコン SRK2221R、2521R、2821R、3621R SRK2221T、2521T、2821T・2821T2、3621T SRK22RY、25RY、28RY、36RY SRK22TY、25TY、28TY・TY2、36TY	ガス管(mm):外径	φ 9.52	φ 12.7	φ 15.88	φ 15.88	φ 12.7							
	接続可否区分	標準接続	○	×									
	最大内外接続配管長	20m	20m										
	許容高低差	室外機下方	10m	5m									
		室外機上方	10m	5m									
	チャージレス配管相当長	10m	10m										
	ルームエアコン SRK2221S、2521S、2821S、3621S、4021S2、5621S2 SRK4021R2、5621R2 / SRK4021T2、5621T2 SRK2521SK2、2821SK2、4021SK2、5621SK2 SRK22SY、25SY、28SY、36SY、40SY2、56SY2 SRK40RY2、56RY2 / SRK40TY2、56TY2 SRK25SYK2、28SYK2、40SYK2、56SYK2	接続可否区分	標準接続	○	×								
		最大内外接続配管長	25m	25m									
		許容高低差	室外機下方	15m	8m								
			室外機上方	15m	8m								
チャージレス配管相当長		15m	15m										
ハウジングエアコン SRT28X2、36X2、40X2、50X2 SRT22X2、25X2 SRTW40X2、50X2 SKU25X2、28X2、36X2、45X2 SRF28X2、40X2、50X2		接続可否区分	標準接続	○	▲								
		最大内外接続配管長	30m ※1	30m	15m								
		許容高低差	室外機下方	20m	10m	6m							
			室外機上方	20m	10m	6m							
		チャージレス配管相当長	10m	7m	5m								
	マルチエアコン SRT56X2 SRTW56X2	接続可否区分	△	標準接続	▲								
		最大内外接続配管長	30m	30m ※2	15m								
		許容高低差	室外機下方	20m	20m	6m							
			室外機上方	20m	20m	6m							
		チャージレス配管相当長	10m	10m	5m								

・ルームエアコン  
○は接続可、×は接続不可  
追加チャージ量は20g/m

・ハウジングエアコン  
○は接続可、×は接続不可  
△、▲は接続可能であるが、冷房能力ダウン(1%/m)。

○、△の場合:追加チャージ量は20g/m × {内外接続配管長(m)-5m}

▲の場合:追加チャージ量は50g/m × {内外接続配管長(m)-5m}

注) 異径配管接続の場合は現地にて異径配管継手が必要となります。

※1 SRT28X2、36X2、40X2、50X2は35m  
※2 SRT56X2は35m

## ● 既設配管の再利用OK

既設配管がそのまま使えるから、据付工事の時間も短縮。エアコンの入れ替え工事が簡単になりました。

- 既設配管はそのまま再利用OK！（但し、配管厚は0.8mmであることが前提条件です）
- 既設配管の再利用でも、従来冷媒と手間は変わりません。
- 配管作業における「水分・異物混入管理」は従来冷媒（R22）と全く同レベルです。

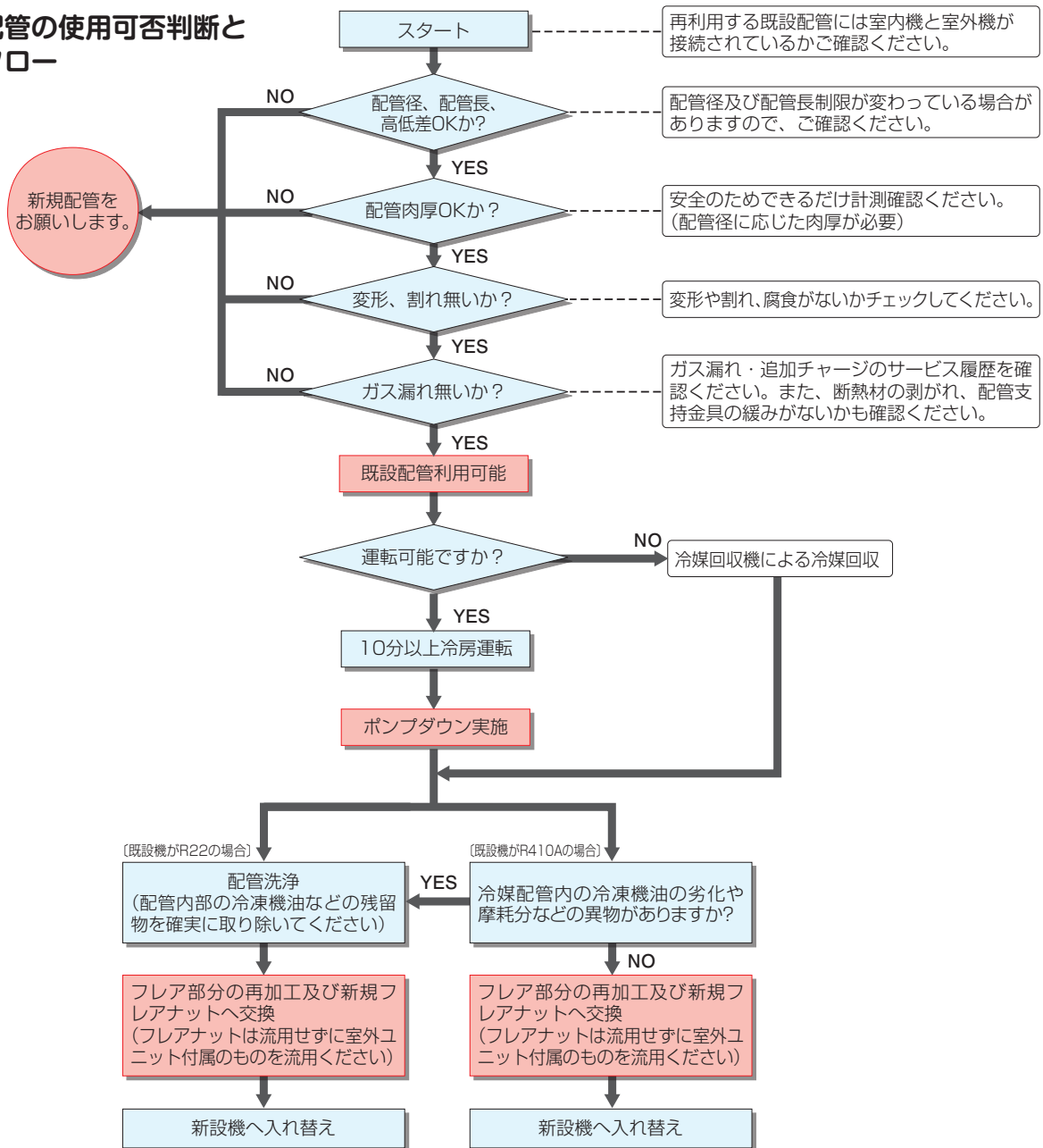
### 既設配管再利用の場合のご注意

- 古いエアコンの取り外しの際には必ずポンプダウンを行い、冷媒・冷凍機油の回収を行うこと。
- 配管肉厚が0.8mmあること（JIS規格の配管）。

**（注）既設配管の再利用を薦めるものではありません。再利用の可否については施工業者様と打合せください。**

\*施工用工具はR410A用をご使用ください。  
R32採用商品についてもR410Aと同じ工具類が利用できます。  
\*一部の機種では、接続配管径の仕様が異なりますので、この場合は買い替え後のエアコンに合った新しい配管を使用してください。

### 既設配管の使用可否判断と作業フロー



#### ■ハウジングエアコンの既設配管再利用について

2003年以前に発売されたモデル（形式末尾がAKF、KRZ、KR）からの入れ替えに関しては、冷凍機油が異なりますので、既設配管の内壁に付着の冷凍機油を窒素ブローで取り除くことで再利用が可能となります。ただし、異物がある場合は配管洗浄してください。

## ●地球環境保全への取り組み：「エコロジー工事」（真空ポンプ式によるエアバージ）

本カタログの商品は、オゾン層を破壊しない代替物質HFC（R410A・R32）採用商品です。エアコン業界ではオゾン層保護・温暖化防止のため、据付工事の際にも冷媒を大気へ放出しない「エコロジー工事」を推進しております。この工事には専用工具や専門的な知識・技術が必要とし作業時間を要しますので、工事費用への影響も想定されますが、地球環境保全のため、適切な据付工事の実施にご理解くださいますようお願いいたします。